

令和2年太宰府市議会第2回（6月）定例会

一般質問者【個人質問】及び質問項目

	質問者 (議席番号)	質問項目
3	長谷川 公成 (13)	◆高齢者の健康づくりについて (1) ロコモティブシンドローム予防教室の認知度と実施自治会数について (2) 元気づくりポイントの費用対効果とポイント対象事業の拡充について

【質問本文】

本市の高齢化率も年々増加傾向にあり最も高い自治会は 50%を超えていると聞き及んでおります。

本市の過去の決算を確認すると年々、民生費が増加し、中でも高齢者医療や介護関係費は今後も増加することが見込まれ、いずれは本市の一般会計予算の半分以上を超えるのではないかと懸念しているところです。

健康寿命を延ばし、寝たきりや要介護を防ぐには日常生活を心身共に健康な状態で過ごすことが一番重要で、高齢者自らが介護予防、認知症予防に取り組める環境整備が必要だと考えます。

本市の第5次総合計画後期基本計画の施策である「生涯健康づくりの推進」の項を見てみますと、介護予防の推進の欄に指標として、ロコモ予防教室を実施している自治会数があります。平成26年度が0自治会であるのに対して平成32年度の目標値は44自治会とあります。平成32年度ということは、目標値を達成するためには残り1年もありません。

現時点でロコモ予防教室を実施している自治会数を把握しているのであればお示してください。また、今後認知度をたかめるためどのような周知方法、実施方法をお考えかお伺いいたします。

次に、元気づくりポイント事業についてお伺いいたします。

この事業が開始して4年が経過いたしました。年々ポイント交換者数は増えていますが、このポイント事業が実施されて医療費の削減につながっているのか、校区協議会や自治会イベントの参加者は増加しているのか不明な点があります。

この1点だけをみただけでは分からないとは思いますがこの事業の費用対効果がわかればお示しいただきたいと思っております。

また、このポイント事業の拡充のために各自治会等が行っている防犯パトロールや避難訓練等をポイント対象事業として認めていただきたいと思いますと考えますが、見解をお伺いいたします。